

静岡空港周辺の産業集積模索

「地域活性化協」を設立

藤 枝



県、志太榛原と中東遠地域の十三市町などによる「富士山静岡空港周辺地域産業活性化協議会」が設立され、第一回会合がこのほど、藤枝市茶町の生涯学習センターで開かれた。

今後、企業立地促進法に基づいて基本計画をまとめ、静岡空港を生かして産業集積に取り組む。案によると、静岡空港、

東名高速道路、東海道新幹線などの利便性の良さ、温暖な気候、豊富な自然を前面に、「農林水産物加工品、精密機器などの高付加価値製品産業をはじめ、次世代の成長産業、農業振興を図る産業の立地が重要」と記している。

計画期間は二〇一三年度末まで。対象区域は島田、磐田、焼津、掛川、藤枝、袋井、御前崎、菊川、牧之原各市と岡部、吉田、森、川根本町の各町。

25人が参加した地域産業活性化協議会の初会合。藤枝市茶町の生涯学習センター

会長に選ばれた大坪檀静岡産業大学長は「大きな可能性を秘めた地域。未来志向で企業立地を進めることが重要」と話した。